

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カノアスFC平松本町		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 6日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムに沿った支援	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な支援プログラムの見直し 個々の児童の特性に合わせた専門的な支援 サッカー療育を通じた集団活動への参加 レクリエーション活動を通じた児童同士の交流 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の保護者には、プログラムの変化に乏しいという認識が見られるため、情報発信の工夫により周知していく必要がある。
2	事業所からの保護者に対する丁寧な説明と的確な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な法改正に合わせた運営規定や利用者負担額等の正確な情報発信 支援プログラムに沿った個別支援計画と専門的支援実施計画の提示と定期的な見直し 電話に加えて、保護者とのグループラインを活用したきめ細かいやり取りにより、キャンセル、欠席、利用追加等保護者の要望に迅速に対応 毎回の活動の様子をyoutube(保護者限定公開)にて発信 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の保護者から、事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応に加えて非常災害時の対応について、周知をされていないと回答があったため、防災訓練が半年に一度実施されていることも含めて、周知を図っていく必要がある。 送迎車の乗り降りの際の危機管理についての指摘があったため、車の出入りの激しい場所での乗り降りには一層の注意を払っていく必要がある。 昨年度の調査結果に比べ、個人情報の取り扱いについて「適切かどうか、どちらともいえない、わからない」という回答が増えている。年々情報漏洩のリスクが増している現代において、スタッフ一同、個人情報の取扱いに一層の注意を払っていく必要がある。
3	活動実施のための環境調整	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた活動場所の選定 <夏> 猛暑での活動による熱中症防止のため、体育館を利用 <冬> 日没時間が早まることと寒冷な時期を考慮して体育館を活用 グラウンド、体育館での活用共にこまめな水分補給の促し 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度の調査と同様、事業所室内空間の狭さを指摘する回答があり、入り口ドアの開閉時の硬さや、トイレの配置に対する意見も寄せられた。サッカー活動が中心であるとはいえ、室内で快適に過ごすことができる環境調整についても検討を行っていく必要がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会の少なさ きょうだい支援が行われていないこと	土曜祝日長期休暇を利用したレクリエーション活動が児童中心に組まれているため。	土曜祝日長期休暇を利用したレクリエーション活動として、保護者交流のイベントも年に数回組み込み、きょうだい児同士が交流できるプランも併せて考えていく。
2	ご家族に対する研修提供や情報発信の不足	研修の年間計画にご家族も参加できる研修会等が組み込まれていないため。	研修の年間計画に、ペアレントトレーニング等保護者も参加できる研修を組み入れ、公認心理士等専門職を中心とした勉強会も計画していく。
3	地域の他児との交流機会の少なさ	利用児童の居住範囲が広いため、交流できる地域が限定されるため。	土曜祝日長期休暇を利用したレクリエーション活動に、児童館のイベント参加や、地域のサッカー部所属の中学生との交流会、栃木SCファンの集いへの参加等、地域の他児との交流を目指した活動を組み入れていく。